

日本発ドイツ便り～フランケン地方へようこそ Würzburg～

あけましておめでとうございます。
今年もどうぞよろしく願いいたします。

皆様はどんな年末年始をお過ごしでしたか？

私は、予告どおり、ちょっとドイツへ里帰り(?)していました。

大晦日は恒例になりつつある、フランクフルトでカーヴルスト+ベルリンフィルのジルヴェスターコンサートの中継を見て、“Dinner for One”を観て、ベルリンのカウントダウンの中継を見て、友達に携帯メッセージを送って、フランクフルトの花火を見ながらおやすみ。という非常に地味なものでした。

ついつい面倒なので、よく知っている街を訪れることが圧倒的に多いのですが、たまには「新規開拓」もしなきゃ。ということで、今回は新年1月1日は早起きして、電車に乗ってGO!でした。

行き先は「フランケン地方」です。

余談になりますが、フランケンワインって、皆さんご存知でしょうか？ドイツを代表するワインの産地。甘口というイメージが強いドイツワインですが、このフランケン地方では、辛口の男性的ないいワインができるんですよ！



フランケンワインはこういった形の瓶にはいています。

で、恥ずかしながら、私、このフランケン地方というのがいまいちどのへんか知らず、どこか東の方に「フランケン河」ってのがあったら。位におもっていました。(恥ずかしい…。)



これは、Bayern 州の地図ですが、なんとブルーの部分がフランケン地方と呼ばれる地域になります。だから、ワインの産地はフランクフルトと同じく、メイン河沿いでした。

地図上では、バイエルン州になりますが、フランケン人に言わせると、「フランケン人はバイエルン人とは民族も違うし、言葉も違う。だから一緒にせんって。」とのこと。奥が深いです。

でもバイエルン人以外のドイツ人ってどうして皆、バイエルンと一緒にされるのをそんなに嫌がるんだろう？

で、フランケン地方、まずは「古都ヴェルツブルク (Würzburg)」で一時下車。(ドイツの鉄道は ICE などの座席予約が必要な列車以外は、一度目的地までのチケットを買ったら、どこでどれだけ途中下車しても大丈夫！「おっ！」と思った景色のところで降りてみるのも楽しいです。その場合は次の列車の時刻だけは要チェック。)

この Würzburg はフランケン地方の中心都市のひとつで、有名なロマンティック街道の北の基点でもあるそうです。「古都」というからに、歴史は古く、紀元前 1000 年頃にはすでにケルト人がメイン河沿いに城壁を築いていた、というから半端な古さではないですね。この街ゆかりの日本でも有名なお二人。長崎の出島で活躍のお医者さん、シーボルトさんはこの街出身、エックス線を発見したレントゲンさんはこの大学で学んだそうですよ。

なんせこの日、電車に乗っている間はものすごく天気が良くて、春みたいなぽかぽか陽気だったのに、Würzburg に着いた頃から、嵐の予感…。実は「現地に行けばなんとかなるだろう」と思って、何も調べずにとにかく行って見ました。なんと、お正月は観光局もお休みでした…。



写真の上のほうに見えるのがマリエンベルク要塞 (Festung Marienberg) です。1250 年頃から 1700 年頃まで歴代の大司教さんの居城兼要塞だったそうです。要塞の下に見える緑のところはワイン畑 (じゃなくてぶどう畑です。) 市内からこの要塞までは坂道を歩いて 15 分。ぶどう畑経由なら 40 分の散歩道。天気が悪いので、迷わず、前者を取りました。ちなみにこの橋はアルテ・メイン橋 (Alte Main Brücke) で写真のような聖人像が 12 体並んでいます。



山登りの途中。ジルヴェスターのなごり。花火とゼクト (Sekt: ドイツのスパークリングワインです。)



要塞からの眺めです。屋根の色とか、建物の高さとか揃ってて、とっても綺麗です！さっき渡ってきた橋も見えます。ああ。これで天気が良かったら…。実際山の上は折りたたみ傘がぶっ倒れそうなくらいの強風でした。実際傘は役に立たず、ずぶぬれでした。さすがに冬 + お正月ということもあって、観光客もかなり少なめ。要塞内は博物館として公開されているはず。なのですが、休みでした…。



広がるぶどう畑。ぶどうが実る頃、この道を散歩がてら要塞まで登ったら、気持ちよさそう。

ドイツ便り ~ フランケン地方へようこそ ~ von Eriko T. am 08/01/2007

この要塞だけでも「おお！」ってなもんですが、Würzburg にはもうひとつ忘れちゃならない名所があります。



それにしても暗いのがどうも気に入りませんが・・・。

世界文化遺産のレジデンツ(Residenz)です。これは、南ドイツバロックの代表的な建築物とのことです。大司教さん、1700年頃までは山の上の要塞に住んでいましたが、18世紀に入って、政局が安定したとかで、山から下りてきて、作らせたのがこの宮殿だそうです。

あまりの強風 + 寒い + 電車の時間が迫っているため、今回は中には入らず。(でももしかしたら開いてなかったかもしれませんが・・・。)

Würzburg は、全部徒歩で観光が可能な小さいけど、素敵な街でした。美味しいワインがあるということは、きっと食べ物も美味しいはず！今回はちょっと駆け足でしたが・・・。

駅に着いたら、駅からも青々とした広々としたぶどう畑が見えました。

電車に乗ったところから、どこからともなく太陽が・・・。

以上嵐の中の Würzburg でした。フランケン地方、まだ続きます。

ご意見ご感想その他、いただけるとうれしいです！